

ことが最も肝心なことではないでしょうか。

子どもは、剣道を通して持久力や忍耐力を養い、心身共に健全な青少年の育成を図るため、牛の歩みにも似ていますが、これからも確実に歩を進めていきたいとねがっています。

★ 55年度新入部員の募集について

55年度の新入部員を募集しています。

申込資格は新2年生以上で、途中で止める事なく継続する自信のある子供に限ります。

申込は、毎週水曜日18時30分より、又は日曜日9時より宮竹小学校講堂 宮竹少剣稽古日に受付します。×切は4月末です。

希望の方は申込み下さい。稽古は5月より始めます。

宮竹少剣

昭和55年4月5日

オ32号

宮竹少年剣道クラブ育成会

★ オ3回級別試合開催

宮竹少剣オ3回級別試合を昨年末の納会(ノ2月23日)に開催しました。昭和54年度最後の試合なので少年剣士も頑張り白熱した好試合が展開されました。結果は次の通りです。

各級優勝者にはトロフィーを授与しました。

	1級	2級	3級	4級	5級
優勝	古館	赤司(ニ)	野村	徳永(隆)	野田
オ2位	上杉	大隈	鬼塚	山崎	岡本(剛)
オ3位		山口 吉沢	粗田 成重	伊藤 長荆	松尾 耳塚

★ 寒稽古で少年剣士大いに頑張る

恒例の寒稽古は、南区合同が1月4日～6日玉川小学校講堂で宮竹少剣が1月4日～6日宮竹小学校講堂で早期6時30分より7時30分まで行なわれました。

連日の厳寒にもかかわらずまだ暗いうちから長く頑張りました。

★ 宮竹少剣鏡開きとぜんざい会

宮竹少剣恒例の鏡開きは去る1月/4日宮竹小講堂で盛大に行なわれました。当日は紅白試合に続いてお母さん達の心づくしのぜんざいに舌

づつみをうち、楽しい一日を過ごしました。

日頃きびしい先生と一緒に子供達もなごやかなひとときを過ごし大喜が
でした。

尚本年も上杉さんのお骨折で無事開催できました。又当日お手伝いいた
だいたお母さん達に厚くお礼申し上げます。

★ 初段誕生

福岡市剣道連盟主催の昇段審査会が去る2月10日県武道館で行われ
ました。

宮竹少剣から荒尾忠嗣君が受験 見事合格しました。

今後益々の精進を期待したいと思います。

尚先輩の塚原、堀川両君も2段に合格したそうです。

両君の益々の活躍、健斗を期待します。

★ 才4回天神旗争奪少年剣道大会参加

才4回天神旗争奪少年剣道大会は去る2月24日太宰府町筑紫工業高
で開催されました。

宮竹少剣より小学生1チーム(飯田、山口、井上、鬼塚、吉沢)が出場
惜しくも一回戦で敗退しました。

★ 今からでも遅くない

—— 子供の健やかな成長をねがって —— ☆

指導部長 亀井 巖

帰路につく車の中で私は何時も同じことを考えます。「今日も来てよ

かったな」と----- これは大人も子供もみんな実感として受けとめ
ていることではないかと思えます。

道場いっばいに響く掛け声、飛び散る汗、激しくそして厳しい稽古を
終えて、静座し黙想する子供達の表情には、疲れよりもむしろ顔面いっ
ぱいの笑みや満足感さえ感じます。稽古前のこわばった表情やしりご
みに比べ、何とさわやかな顔か、この素直さにひたることがお世話する
人達の至上の喜びではないかとさえ自覚しています。

冬の寒い朝、丸裸になって稽古着に着替える辛さ、又学校から疲れき
って帰宅シ夕食の配膳もできかかる頃から稽古に出かける事は子供なりに
大変勇気がいることです。

今日はきれいな「メン」が決まった、しかし「胴」打ちはまづかった。
でも最後まで頑張り通した。この満足感があすも道場に足を向けてくれ
る原動力になるのだと信じます。

学力偏重の教育が過熱していく中で子供の自殺や非行が年々増してき
ました。その度に「過保護が原因だ」「いや学校教育に欠陥が」「いや
いや地域社会に問題がある」とお互いにその責任が転嫁されています。
これは教育の中の 何を誰が担うのか という社会的分担があいまいに
なっているのではないのでしょうか。今こそ自主性や創造力や生命力に溢
れた真の生きる力を備えた子供を育てるため家庭・学校・社会の三者が
どのような役割を担うべきかを真剣に検討すべき時期に来ていると思
います。

最近テレビで、健全な心は健全な体に宿る、一日一善、親を大切にし
よう、等の立派な標語が出ますが「モーターボートの収益金は」とCM
があって子供達に囲まれ悦に入っている変な大人もいるようです。しか
し口先で題目だけを唱えても意味はありません。体で覚え、そして知る